

ZENBUTSU

全仏



No.
557

仏暦2553年 3月
[2010年]



高野山 大円院の横笛の紅梅— 撮影 橋本明禪副会長

目次	松長有慶会長がダボス会議で提言	2
	加盟団体をゆく 第32回 時宗	4
	「WFB本部表敬訪問とネパール・ルンビニー園参拝ツアー」報告	6
	加盟団体顧問弁護士連絡会	7
	日本宗教連盟主催「宗教と生命倫理」シンポジウム開催	8
	埼玉県「宗教者の集い」	8
	ハイチ大地震に際して救援基金を寄託	9
	花まつり絵はがきプレゼントのお知らせ	12
	花まつりのテーマソングのお知らせ	12



松長有慶会長がダボス会議で提言

一月二十六日より三十一日まで、スイス東部のダボス(Davos)において、世界経済フォーラム

(WEF・ダボス会議)二〇一〇年次総会が開催された。

大会の全体テーマは「経済危機後の世界秩序の再編」。行動に重点が置かれた「世界の現状改善に向けて：再考、再設計、再構築」がサブテーマである。

WEFはジュネーブ大学のクラウス・シュワープ氏の提唱で開始され、各国の経済界のリーダーおよび首脳・閣僚が集い、今後の政治・経済の方向性ならびに世界平和の実現、諸国間の幅広い交流関係の構築、および経済発展と地球環境・倫理・教育のあり方などを自由な立場で協議する会議であり四十回目を迎えた。

今回、松長有慶会長が仏教界の代表として招待を受け、宗教者を中心としたセッションおよび経済界を中心とする各界の識者によるシンポジウムにパネリストとして

参加。積極的な提言を行い対話および交流を深めた。

WEFには全世界より随行者・報道関係を含めると延べ一万人程度が参集した。会議は経済関係者のパネルディスカッションを中心に一般市民に向けたオーブンフォーラム、文化芸術関係の催し等多彩な内容が盛り込まれた。

開会式は二十七日午前に行われ、フランスのニコラ・サルコジ大統領が基調講演を行った。

1. 信仰指導者部会会議

一月二十七日午前九時より会議の主会場であるコンGRES・センターで十名のキリスト教・イスラム教・ユダヤ教・仏教など各国から招待された十数名の諸宗教代表者により信仰指導者部会会議(Faith Leaders Community Meeting)が開催された。

この部会会議は数年来継続的に行われており、世界経済およびそれを取り巻く社会状況に対して宗

教者として何を提言すべきかを多角的に検討している。経済界をはじめとする一般社会が今、様々な困難な状況の打開に宗教者の助言を切実に求めていることが伺われる。

本会議では、以下の五点が検討された。

- 一、会議の持つ役割
- 二、世界経済フォーラム二〇一〇における、宗教指導者部会の持つ主要な価値について
- 三、新興指導者部会年次報告「経済危機後の価値」について
- 四、信仰に関する全般的な協議事項および、世界の再設計の提唱について
- 五、二〇一〇～二〇一一年の活動・行事計画について。

諸宗教対話においては相互の教義の違いの確認に止まることがある。しかしこの会議において各宗教の代表は、各宗教の教義に立脚しながらも、あえてそれを声高に主張することはない。各自はお互いに他の宗教を尊重し、相互理解に努め信頼感を構築している。そ



会議に臨む
松長有慶会長

2. 『信仰とグローバルアジェンダ 経済危機後の価値』刊行記念 記者発表

の上で現代の社会課題に対して宗教がいかなる役割を果たせるのかという点にまで踏み込んでいようと感じられた。

記者発表

一月二十九日午後一時三十分より、信仰指導者部会の課題を集め、マスメディアへの公開行事が開催された。松長会長は日本仏教界からの初めての参加であり、日本仏教の特色を原稿にまとめ提案した。要旨は以下の三点である。

- 一、生きとし生けるものの相互の関連性を認める全体的 whole-stic 思考
- 二、多元的な価値観
- 三、生かさせていただいている意識から社会奉仕活動へ

本議題集は記者発表され広く参加者に配布された。(本会ホームページに和・英全文掲載、次号にて和原文を掲載予定)

3. パネルディスカッション

「Japan in Transition」

「移り変わる日本」

一月三十日午後五時より、日本の関係者主催によるパネルディスカッションが行われ、松長会長はパネリストの一人として自身の意見を発表した。参加者からの質問に各パネリストが答える形で進行了。英語を基本に同時通訳で行われた。



左より竹内弘高一橋大学教授、松長有慶会長、Jean-Pierre Lehmann スイス・IMD International 教授

松長会長は前出の原稿の三つの視点に基づき、針供養などにみられる「もの」に「こころ」があるとする日本人の自然観、日本人の季節毎の行事等にもみられる多元的な価値観、仏教の対社会活動の根拠と歴史などを仏教の専門用語をなるべく避けながら、会場からの質問に答える形で三度に亘って提言した。

進行は竹内弘高一橋大学教授・一橋大学院国際企業戦略研究科長。パネリストは船橋洋一朝日新聞主筆、濱田純一東京大学総長、チャールズ・レイク株式会社アフラック社長、竹本直一自由民主党衆議院議員(元、財務大臣)、スイス・IMD International の Jean-Pierre Lehmann 国際政治経済学部教授ら各氏がつとめた。

4. WEF からの展望

一月三十一日午前九時より全体的方針が総括された。円卓に十名ずつ各分野の参加者が着席し、各卓毎に意見をまとめた。松長会長はノルウェー皇太子らと共に参加。

総括は、今後 WEF のウェブサイトで公開される予定。本会議をもって五日間に及んだ会期を終了した。

世界的規模の経済会議に日本の仏教の代表が招かれ提言を行うということはかつてなかったと思われる。今回主催者側からの大変強い要請があり、初めて参加の運びとなった。

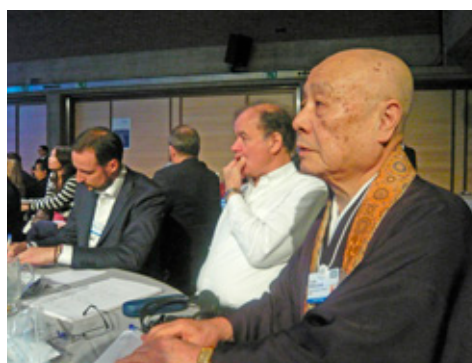
今後、日本仏教の代表者が世界の他の宗教代表者と共に、こうした場で経済をはじめとする様々な社会課題に前向きに問題提議と提言を行っていくことは意味あることと思われる。

松長会長は「今、経済界からのみならず広く世界の各方面から宗教・および信仰の叡智が一般社会の課題解決のために求められていることが切実に感じられた。非常にエネルギーに満ちた討論であった。」と感想を述べた。

(報告・国際部)

世界経済フォーラム (WEF) ホームページ

<http://www.weforum.org/en/index.htm>
全日本仏教会ホームページ
<http://www.jblfne.jp>



最終セッションに臨む松長有慶会長

本会の事業をご理解頂くために

本会事業の現況についてご理解をいただきたく、各団体へ事務総局員を派遣しております。宗会或は総会の開催等にお時間を頂きたく、何卒宜しくお願い致します。

詳細は左記まで

全日本仏教会 総務部

電話 03-3437-9275

FAX 03-3437-3260

事業説明派遣先

曹洞宗宗務庁 東京都仏教連合会

天台宗宗務庁 長崎県仏教連合会

日蓮宗宗務院 滋賀県仏教会

浄土宗宗務庁

加盟団体をゆく

《第三十二回》時宗

今回は、時宗宗務庁にてお話を伺いました。

時宗総本山の遊行寺は神奈川県藤沢市に位置し、七〇〇年以上続く修行の場としての聖地であります。古都鎌倉の街にも近く、一年を通じてお詣りできる観光寺院としても人々に親しまれております。明治天皇も度々遊行寺にお泊まりになり、その際使用された井戸が「明治天皇御膳水」として残っています。



高木貞歡宗務長

―貴団体の活動で、継続的に、また特に力を入れていらっしゃる点についてお聞かせ下さい。

時宗は約七〇〇年前、一遍上人がお開きになった念仏宗であります。一遍上人はご自身の信仰を確立された後に、念仏の教えを全ての人々に広めようという念願をおこし全国遊行の旅に出られ、御賦算（念仏のお札配り）を人々に一人ひとり手渡しで渡していきました。生涯通じて二十五万余人にお札を配られたとの記録があります。



御賦算にて配られるお札

その一遍上人の志をつぎ、遊行を代々相続する方を遊行上人とお呼びします。遊行上人による全国を巡回しての御賦算は現在に受け継がれており、宗派の最も重要な

活動の一つであります。

その他、全国の檀信徒と一緒に会しての声明の講習、講演等を実施し、その中のひとつのテーマを掘り下げて話し合いを行い教化の推進及び自己研鑽を図っています。

また、ホームページを利用しての情報提供を積極的に進め、開かれた宗門を目指しております。将来はインターネットを通じて誰もが居ながらにしてきめ細かな布教が拝聴できるようになれば理想ではないかと思えます。

災害支援に関しては、宗派所属の寺院が人災・天災等により大きな被害を被った場合、最高十年間の無償貸し付けを行う制度を備えております。先日のハイチ大地震のような災害の支援に関しては全日本仏教会の「救援基金」へ寄託を行う等、他宗派・他団体との連携を図りつつ支援を行っております。

他宗派との連携としては、西山三派（証空会）並びに浄土宗（浄宗会）との連絡会を開催し、お互

いに布教での問題点や取り組みに関する情報交換や検討を行っております。今後も宗派の垣根を越えて交流を深め、より良い布教及び社会貢献を目指しています。

―今後の仏教界の在り方について、指針をお聞かせ下さい。

菩提寺に対する、檀信徒の意識が段々変わっているように感じます。原因の一つは、農村部と都市部でのライフスタイルの違いがあるのではないかと思います。

農村部を離れ、都市部に居住している方は、故郷の墓地では遠距離になりお墓参りは容易ではありません。また、都市で墓地を求めると場合は地価等の問題もあり、遺骨を納める場所としての機能が優先されがちになってしまいう傾向があります。ますます菩提寺との関係も希薄になってしまいうケースも多々あります。

この、農村部と都市部それぞれの実情を正しく調査・研究した上で、地域に合わせた布教活動を行う努力をしなければ、ますます信

仰心が希薄になってしまいました。

現在、人口は年々都市部に集中する傾向にあり、葬儀や年回でしか菩提寺との交流はなく、何かという寄付を求められるのではないかと思われています。そんな状態に陥らない為には、日常的に地域の実情を理解すること、地域の活動との交流を図り、檀信徒と真の信頼関係を構築することが肝要と思います。

また、僧侶も社会全体が抱えている問題に対して意識を共有するように努め、布教の資質強化を日々心がけていかななくてはならないでしょう。

― 昨今の様々な社会問題について、感じていらっしゃる思いをお聞かせ下さい。

現在の学校教育は、学識優先を基本として教育を進めています。以前は家庭内の教育において道徳教育を行い、学校教育においては学識優先、という分業がしっかりと機能していたのではないかと思います。

しかし近年、道徳教育が家庭内・学校内、どちらにおいても充分になされておらず、機能していないように感じます。

また、お寺での法要やお参りは家族・親戚縁者が揃って行われ、家族内の繋がりを強化すると共に命の大切さを実感できる数少ない場所でありました。しかし、昨今ではややもすると形骸化したり、おろそかになる傾向も感じられます。学校教育では宗教色を廃するよう推進し、寺院とのふれ合いも減少した結果が昨今の問題を引き起こす一因となっています。

家庭においては、家族構成は核家族化し、部屋の間仕切りも各々分かれ、親子の会話の時間が少なくなっています。プライベートは確かに大切ですが、同居している親子が一日中ほとんど会話しないのが正常な状態と言えるのか。家族のつながりを深める事が急務です。

学校においては道徳教育をより充実させる事が理想です。しかし、道徳は道徳のみで教育を行う

事はなかなか難しいです。以前の教育は、道徳のみの道徳教育ではなく、そこに日本古来の仏教的思想であり、神道的思想であるといった宗教的思想が含まれた上での道徳教育が自然な形で行われておりました。現在でもそうした形が理想だと思えます。

しかしながら、現在の学校制度で教育に宗教的要素を盛り込むのは非常に困難であります。そこで、学校教育という枠ではなく、寺院側が境内地を開放して子供の遊び場として提供したり、地域に密着した催しを開催するなどして、地域との交流をより深めていく取り組みを進める事が重要だと思えます。

その結果として人と人との結びつきが生じ、それが家族間の交流や学校教育の場にフィードバックされていく。そうした良い循環を、地域住民・学校・寺院の三者が協力して作り上げていくのがそれぞれにとって理想の形ではないかと思えます。

― (財)全日本仏教会へのご要望やご意見がありましたらお聞かせ下さい。

仏教界全体が社会全般で抱えている問題に関して問題意識を共有する事は、今後ますます必要性を増してくると思えます。

全日本仏教会は、そうした社会の問題に対して、方向付けや助言を行い、意識の啓発や問題意識共有の一助となるような発信をして頂けると大変助かります。(談) 時宗ホームページ

<http://www.jishu.or.jp/>

祭・芸能・行事大辞典

小島美子・鈴木正崇・三隅治雄・宮家 準・宮田 登・和崎春日監修
B5判 2228頁 特価76650円(本体73000円) [2010年3月末まで]
定価81900円(本体78000円)



●内容

- 祭・芸能と、これに伴う音楽から年中行事、イベントまで包含する本邦初の五十音順の大辞典。
- 巻頭に総説を掲載し、豊富なカラーページを設け「祭」「芸能」「行事」「音楽」「イベント」の現状と展望を概観。
- 5500項目を収録。随所に豊富な画像を用い、ビジュアルに構成。
- 付録に無形民俗文化財一覧、年中行事・人生儀礼一覧、文化財保護法などを掲載し読者の便宜をはかった。

朝倉書店

〒162-8707 東京都新宿区新小川町6-29
電話 営業部 (03) 3260-7631 FAX (03) 3260-0180
<http://www.asakura.co.jp>

「WFB(世界仏教徒連盟)本部表敬訪問と
ネパール・ルンビニー園参拝ツアー」報告

二月五日より十一日まで、深澤信善事務総長を団長として「WFB

(世界仏教徒連盟)本部表敬訪問とネパール・ルンビニー園参拝ツアー」が開催され、事務局を含む二十五名が参加した。

二月五日、成田空港内VIPルームに於いて結団式が行われた。深澤事務総長より参加者への御礼と挨拶が述べられ、参加者自己紹介の後、諸注意説明等が行われた。

同日十五時四十五分(現地時間)にバンコク・スワナブーム空港に到着。空港には、パロップ・

タイアリーWFB事務総長にお出迎え頂いた。

バスで宿泊先であるインペリアルクイーンズパークホテルに移動し、十九時から同ホテル九階の宴会場に於いて、WFB主催の歓迎晩餐会が開催された。

晩餐会には、アルン・スガムデーWFB副会長、パロップ事務総長を始め、WFB職員約二十名が出席。

晩餐会ではパロップ事務総長より、パン・ワナメッテイWFB会長の歓迎の挨拶文が代読され、続いて深澤事務総長が御礼の挨拶を述べた。参加者はタイ料理を囲み、WFB職員との交流を楽しんでいた。

翌日六日、飛行機にてカトマンズへ移動、バスに乗りカトマンズ本願寺へ向かった。カトマンズ本願寺では開教事務所所長である、ソナム・ワンデー・ブディヤ師にお出迎えを頂き、本堂にて岡田

満氏(浄土真宗本願寺派宗会議員・西本願寺門徒推進員)導師のもとと浄土真宗本願寺派の法式で法要が執り行われた。法要後、参加者である藤谷光信師(参議院議員)より挨拶が述べられた。カトマンズ本願寺を出発した後は、スワヤンブナート(別名 目玉寺)、ダルパール・スクエア(王宮前広場)を見学し、宿泊先のホテルへ移動した。七日、飛行機にてバイラワまで移動し、バス二台に分乗してルンビニー園へ。途中、休憩した「法華ホテル」には、本会がマヤ堂復興事業に関わった証となるプレートと、当時



カトマンズ本願寺に参拝する参加者

の事業計画図が正面入り口に飾ってあり、参加者の川島宏之師(本会OB)は復興事業に深く携わった経験から、他の参加者に詳しい経緯等を説明されていた。

ルンビニー園は一九九七年ユネスコ世界遺産に登録され、園一帯を扉で囲い、綺麗に整備され、以前のルンビニー園を知る参加者からは大きな変化に驚きの声も上がっていた。

マヤ堂内では読経や礼拝出来るようなスペースはなく、外からではあるが参加者一同で三帰依文をお唱えし、マヤ堂を後にした。

(引き続き次号に掲載を予定)



ルンビニー園マヤ堂・アショカピラー前で記念撮影を行う参加者一同



歓迎晩餐会にて挨拶するパロップ・タイアリーWFB事務総長(壇上右)

加盟団体顧問弁護士連絡会

二月一日、東京グランドホテルにて「加盟団体顧問弁護士連絡会」が開催された。

今回は、昨年の衆議院選挙による政権交代に伴う、今後の方向性を探るため、ジャーナリストと民主党の国会議員を招き現状等の説明を聞いた。

一部は、ジャーナリストの二木啓孝氏（日本BS放送取締役）の「政権交代について」講演。

二木氏は「政権交代は総選挙により国民が望んだ結果である。よって現在の小沢氏による『政治と金』に関する問題は、さらなる批判が大きくなると予測される。しかし、民主党不支持が増えても自民党の支持率が上がる訳ではな



講演する二木啓孝氏

い」との現況分析を語った。また、「民主党の考える本場の政権交代は、平成二十三年四月、国政の足腰となる統一地方選挙での勝利が狙いではないか」「現在の社会情勢でマニフェストを守るといっては、相当の力仕事であり、経済状態が安定しないと叶わないだろう」と述べた。

自民党に関しては、「一九五五年に自由党と民主党が合併し結党した時には『日本を社会主義にしない』『経済成長』という旗を掲げ、以来常に何かの旗を掲げて党の活動を推進してきた。現在、自民党に元気がないのは、掲げる旗（党の方針）が明確に提示出来ない点にあるのでは」と語った。

休憩を挟み第二部では、藤谷光信参議院議員（民主党仏教議員連盟事務局長・浄土真宗本願寺派僧侶）から出席国会議員の紹介。その後本会顧問弁護士長谷川正浩先生が進行。平岡秀夫衆議院議員から仏教界に関係する民主党のマニフェストに沿ったレジュメが配布

され、前川清成参議院議員、松野信夫参議院議員を交え解説が行われた。

まず税制改正過程の抜本的改革における宗教法人への影響に関して報告を受けた。前政権までは、「自民党税制調査会」と「政府税制調査会」の二本立てであった。現政権では、国会議員で構成される「政府税制調査会」に一本化した。その下に専門委員会を設置し、有識者や業界各団体等が参加する組織変更を行った。

公益法人制度改革に伴い、宗教法人も公益社団法人・公益財団法人と同じ課税の取り扱い方も議論される可能性が高いと報告があった。

靖国問題・国立追悼施設の建立に関しては、代替え施設として建てるつもりはない。その目的とは、我が国がこれまでに関わった戦争において多数の尊い戦没者がでており、二度と同じ惨禍をくりかえさないため、非戦平和を誓うことのできる国家施設をもつことが必要と考える。祈念・追悼の対象とする戦没者としては、我が国が近代国家となった明治時代以降から先の第二次世界大戦までの戦



右より長谷川正浩弁護士、藤谷光信参議院議員、平岡秀夫衆議院議員、前川清成参議院議員、松野信夫参議院議員

争で我が国が関わったものとし、新たな戦争犠牲者の受け皿とならないものとする。

人権侵害救済法（仮称）に関しては、現行の「人権擁護法案」との違い及び過去の経緯が説明されたが、与党内でも今後議論を深めていく必要があるとの報告があった。

質疑応答では、税務調査に関して課税対象の線引きが曖昧である問題、徴税に関する不服制度が未熟である事、プロジェクトチームによる納税者の権利を明確にする事等が質疑され、意見交換が行われた。

引き続き懇親会が同ホテルのレストランにて開催され、情報交換や意見交換が活発に行われた。

**〔財〕日本宗教連盟主催 第四回
「宗教と生命倫理シンポジウム」**

十二月十八日、午後一時半より
グランドヒル市ヶ谷にて「『尊厳
死法制度化』の問題点を考える」を
テーマとして開催。

井形昭弘氏（日本尊厳死協会理
事長、名古屋学芸大学学長）、光
石忠敬氏（弁護士）、加藤眞三氏
（慶應義塾大看護医療学部教授）、
立岩真也氏（立命館大学教授）の
四氏をパネラーに迎え、島菌進氏
（東京大学大学院人文社会学系研究
科教授）をコーディネーターとし
て九十分程のパネルディスカッシ
ョンが行われた。

尊厳死法制度化に関しては、井形
氏のみが法制化に賛成し、他の三
名はいずれも反対もしくは態度保
留、という意を表した。

「尊厳死は人権運動であり、自分
の意志に基づく尊厳死は当然守ら
れるべき権利」であり、リビング
ウイル（意識があるうちに残した
遺言）を尊重すべき、との井形氏
の主張に対し、他三氏は日本救急

医学会や厚生労働省が策定するガ
イドラインや法制化の問題点等を
指摘し反論、死への過程がマニュ
アル化されてしまう事への警鐘を
鳴らした。

休憩後、質疑応答が行われ「A
LS（筋萎縮性側索硬化症）患者
は尊厳死したい、というのが願
いではなく医療の進歩により病気を
治したい、というのが一番の願
いだ。そこを（尊厳死推進の医者
は）忘れていてのではないか？」
等々、厳しい質問も浴びせられた。
日本宗教連盟では今後もこうし
た現代社会が抱える生命倫理の問
題に関して議論する場を提供して
いきたい、との事。約百二十名が
参加した。



（左より）島菌進氏・井形昭弘氏・
光石忠敬氏・加藤眞三氏・立岩真也氏

**〔財〕埼玉県佛教会他主催
「埼玉県新春宗教者の集い」**

一月二十五日午後五時より、浦
和ロイヤルパインズホテルに於い
て、埼玉県佛教会・埼玉同宗連・
埼玉県宗教連盟・埼玉県佛教保育
協会・埼玉県佛教青年会の五団体
を発起人として「埼玉県宗教者の
集い」が初の試みとして開催され
た。発起人となる五団体は事務局
が全て埼玉佛会館に入っており、こ
うした催しを通じてより連携強化
を深めていきたい、との事で、六
十名以上の参加者があった。

開会に際し、萩野映明埼玉県佛
教会副会長が挨拶。続いて藤田得
三埼玉県佛教会会長が来場者へ感
謝の意を示すと共に、今後ますま
すの交流を深めていきたい旨の挨
拶をした。

続いて来賓祝辞として本会の西
野良嘉広報文化部長が祝辞を述
べた。また、片岡明幸部落解放・
人権センター理事長より、「近年
の格差の固定化が職場や学校等で
新たな人権問題を生み出してお

り、来場各団体との連携の元、宗
教界の力をそうした問題解決に役
立てていきたい」旨の挨拶がなさ
れた。

続いて叙勲・褒章受章者の表彰
者に藤田会長より記念品を授与、
乾杯後懇談となった。

埼玉県佛教会財団法人であ
り、なおかつ埼玉佛会館を所有して
いるため、公益法人制度改革に関
して大和証券・野村證券等のコン
サルタントやサポートを今以上に
活用していきたい、公益認定を目指
すかどうかを検討していく方向であ
る。

閉会前には恒例の福引き大会が
行われ、盛会の中、午後七時過ぎ
に閉会となった。



会場に詰めかけた参加者

ハイチ大地震被災者への 理事長メッセージ

ハイチ共和国において二〇一〇（平成二十二）年一月十二日午後四時五十三分（日本時間十三日午前六時五十三分）大地震が発生し、甚大な被害が出ております。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

この度の大地震に関しまして全日本仏教会では、加盟する各宗派・都道府県仏教会・仏教団体より寄せられた「救援基金」より、一月二十日ハイチ大使館・日本赤十字社へ各百万円を寄託いたしました。WFB（世界仏教徒連盟）の人道支援委員会と連携し、様々な支援の方途を検討の上、支援団体とともに救援活動に協力してまいります。

今後も我が国の伝統仏教界挙げての災害救援、人道的支援を通じて、被災地が一日も早く復興され、人々が安寧な暮らしができてすよう願っております。

平成二十二年 一月二十八日

財団法人 全日本仏教会

理事長 豊原大成

ハイチ共和国大使館に見舞い 金寄託へのお見舞い

一月二十日、深澤信善事務総長がハイチ共和国大使館に向きお見舞金百万円をジャンクロードボードハイチ共和国代理大使へ手交し寄託した。

代理大使は、「現地では首都において現状六万人を越える死者が出ており、更に増える見通しである。アメリカをはじめ、各国の国際協力を得て救援・復興活動を迅速に進めてゆきたい」と述べた。



ジャンクロードボード代理大使に
深澤信善事務総長がお見舞金を手交

赤十字社への寄託

同日、深澤事務総長は日本赤十字社へ義捐金として、岡本龍太組織推進部次長兼指導課長へ百万円を寄託しました。



岡本龍太次長に深澤信善事務総長が
義捐金を手交

岡本次長は「日本赤十字社では既に職員を派遣し情報収集に努め、本日（二十日）より医療チーム8名が現地入りし、活動を開始する予定です。今後も国際赤十字の指揮の下、長期に渡って救援活動を続けていく必要があると予想されます」と述べた。

今後も被災状況を注視し、被災国政府機関、国際救援機関、並びに日本の仏教系NGO団体へ皆様から寄せられた義捐金を寄託し、現地の被災者救援活動を支援いたします。

本会では、国内外における災害救援や人道的支援等に対し、緊急且つ迅速な対応をすべく「救援基金」を常時開設しています。皆様の暖かいご支援を、下記口座にお寄せ頂けるよう心よりお待ち

いたします。

【郵便振替】

口座番号

00110191704834

口座名義全日本仏教会救援基金

問い合わせ

全日本仏教会 財務部

03(3437)9275

救援基金 寄付者名

（十二月十一日～一月二十七日）

浄土宗平和協会

妙心寺 おかげさま運動事務局

天性寺 毛利俊行

玉林寺 長谷琢堂

本照寺 境野哲秀

愛染院 白井雄仁

時宗

金峯山修験本宗管長 五條寛堯

松山公顯

龍仙寺 武田昭英

岐阜県仏教会

信松院 西村輝成

（順不同 敬称略）

ご支援誠にありがとうございます。ごました。

仏教界挙げての人道的活動のため、引き続きご協力をお願い申し上げます。

余寒見舞い

東京都大田区池上一三三二一五 〒146-8544 ○三(三七五)七一八一 FAX ○三(三七五)七一八六 http://www.nichiren.or.jp/	日蓮宗新聞社 社長 草々谷 秀人	参 与 吉 田 海 心	参 与 渡 邊 一 之	研究 所 宗 教 長 教 三 原 正 資	室 務 総 長 渡 邊 義 生	宗 務 部 長 米 田 宣 雄	財 務 部 長 梶 山 寛 潮	総 務 部 長 梶 山 寛 潮	教 務 部 長 塩 崎 望 巳	伝 道 部 長 古 河 良 皓	総 務 局 長 駒 野 教 源	伝 道 局 長 関 谷 泰 教	宗 務 総 長 渡 邊 照 敏	管 長 酒 井 日 慈	日 蓮 宗
--	---------------------	-------------	-------------	----------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-------------	-------

横浜市中央区大平町九六 〒231-0859 ○四五(六六)〇一六六 西有寺内	事務局長 井 澤 孝 一	同 木 内 雍 明	同 都 築 哲 信	同 和 田 大 雅	副 会 長 竹 内 成 行	会 長 本 間 孝 康	神奈川 県 仏 教 会
--	--------------	-----------	-----------	-----------	---------------	-------------	-------------

インパクト・インベストメント ～投資に社会的視点を～ 大和証券の取組み

近年、「金融に社会的視点を組み込む」という姿勢が金融機関に求められています。大和証券グループでは、企業理念の一つに『社会への貢献』を掲げ、主要業務である証券ビジネスを通じてより良い社会の構築に尽くすべく努めております。

◆インパクト・インベストメント

欧米では今、“インパクト・インベストメント (Impact Investment)”という新たなトレンドが動き出しています。インパクト・インベストメントとは、経済的な利益を生み出すと同時に、**貧困や環境などの社会的課題に対して、より直接的で即効性のある解決を目指す投資**のことです。経済的利益と社会的利益、2つの利益を享受できる新しい投資のかたちだといえます。日本ではまだ馴染みのある言葉とはいえませんが、「良いことをしながら良い投資をしたい」と考える人は増えていくのではないのでしょうか。



◆社会的課題の解決に向けて - 大和証券の取組み -

2008年3月、大和証券は国内で初めて、子供たちへの予防接種活動を支援する『ワクチン債』を販売しました。「途上国におけるワクチン普及活動に活用する」という明確な資金使途と、「子供たちの命を救う」という社会的意義から、多くのお客様からご賛同の声を頂きました。以降、排出権取引市場の活性化につながる『ワールドクールボンド』、調達資金をマイクロファイナンス（貧困層向け小規模金融サービス）に活用する『マイクロファイナンス・ボンド』、地球温暖化対策に取組むプロジェクトを支援する『グリーン世銀債』等、社会貢献につながる金融商品を販売しました。

今後も投資に社会的視点を組み込んだインパクト・インベストメント商品の開発・販売に積極的に取組み、投資家の皆様と共に、貧困をはじめとする様々な問題の解決に寄与していきたいと考えております。

大和証券
Daiwa Securities

※大和証券のインパクト・インベストメントに関する特集は、www.daiwa.jp/study ホームページ「知りたい投資」でご覧いただけます。
※全日本仏教会ホームページの賛助会員一覧「団体会員 大和証券(株)法人サポート部」からもご覧いただけます。

大和証券ホームページ

www.daiwa.jp

事務総局録事

十二月(十一月～三十一日)

- 十一日▼宗教教育推進委員会
- ▼茨城県仏教会取材
- 十二日▼臨済宗妙心寺派「妙心寺開山無相大師六百五十年遠諱正当法要」豊原大成理事長参列(大本山 妙心寺)
- 十四日▼(株)オードリー来局
- ▼EMIミュージック・ジャパン 佐々木氏来局
- 十五日▼UNHCR駐日事務所・国連UNCHR協会合同、年末レセプション出席(国連大学ビル)
- 十六日▼(株)大和証券 佐藤氏来局
- ▼参議院議員「中川雅治君を励ます会」出席(グランドプリンスホテル赤坂)
- 十七日▼(財)日本宗教連盟 平成二十一年度第四回 理事会・懇親会出席(ホテルグランドヒル市ヶ谷)
- 十八日▼(財)日本宗教連盟「第四回 宗教と生命倫理シンポジウム」出席(ホテルグランドヒル市ヶ谷)
- ▼BNN教材会議出席(浄土宗長専院)
- ▼中外日報社 赤坂氏来局
- 二十一日▼局内会議
- ▼東映株式会社 岡田社長、菅野師、中村師来局
- ▼民主党・企業団体委員会との

- 懇談(民主党本部)
- 二十二日▼朝日ビジネスソリューション 来局
- ▼真宗大谷派東京出張所来局
- 二十四日▼近畿日本ツーリスト打合せ
- 二十五日▼BNN企画委員会出席(庭野平和財団事務所)
- ▼全日本仏教徒会議栃木大会 事務局会議出席(栃木県仏教会事務局)

一月(一月～三十一日)

- 八日▼日蓮宗新年御用始め出席(日蓮宗 宗務院)
- ▼全日本仏教徒会議栃木大会事務局 会議出席(栃木県仏教会事務局)
- 株式会社DAITO熊谷氏来局
- 十二日▼局内会議
- ▼BNN企画委員会・新年懇親会 出席(庭野平和財団事務局)
- ▼立正佼成会 川端局長・赤川次長 他来局
- 十三日▼(株)大和証券 佐藤氏来局
- ▼ぎょうせい 清野氏来局
- ▼近畿日本ツーリスト打合せ
- 十四日▼(社)日本仏教保育協会新年懇親会出席(サ・プリンスパークタワー東京)
- ▼浄土真宗本願寺派備後教区教務所長・尾道仏教会事務局訪問(広島県)
- ▼浄土真宗本願寺派本願寺宗務首 都園センター職員来局
- 十五日▼大本山増上寺「新年互礼会」出

- 席(浄土宗 大本山増上寺)
- ▼(株)オードリー来局
- ▼広島市仏教会事務局訪問・三原市仏教会新旧役員会出席(広島県)
- 十六日▼民主党二〇一〇年度定期大会出席(日比谷公会堂)
- 十八日▼局内会議
- 十九日▼顧問弁護士連絡会開催にかかる挨拶と説明(衆議院議員会館・参議院議員会館)
- ▼東京大学 下田教授来局
- ▼藤谷光信参議院議員秘書 脊尾氏来局
- ▼(株)産経広告社 山本氏来局
- ▼野村証券来局
- 二十日▼ハイチ共和国大地震「救援基金」寄託(ハイチ共和国大使館・日本赤十字社)
- ▼宗教教育推進委員会
- 二十一日▼WF B人道支援委員会打合せ
- 二十二日▼社会人権審議会(全体会)
- ▼(財)日本宗教連盟 第一回「宗教法人法制と税制に関する調査研究会」出席(新宗連会館)
- ▼浄土宗浄光会「第二十一回新年総会」出席(大本山増上寺)
- ▼平成二十二年新春埼玉県宗教者の集い出席(埼玉県 浦和ロイヤルパインズホテル)
- 二十三日▼自由民主党「政策ワークショップ」出席(自由民主党本部・グラ

- ンドプリンスホテル赤坂)
- 二十四日▼塚本啓祥東北大学名誉教授葬儀参列(神奈川県 鎌倉カドキホール)
- 二十五日▼宗教法人審議会
- ▼第六十回インド共和国記念日レセプション出席(ホテルニユーオオタニ)
- ▼朝日ビジネスソリューション 来局
- 二十六日▼二〇一〇 世界経済フォーラム年次総会 松長有慶会長出席(ダボス会議)(スイス) (三十一日)
- ▼WCRP新春学習会・新春の集い出席(立正佼成会横浜教会)
- ▼東映株式会社 村松氏・富永氏来局
- ▼大和証券 佐藤氏来局
- 二十七日▼総務財政審議会(ホテルパシフィック東京)
- ▼念法真教 桶屋教務総長来局
- 二十八日▼無料法律相談室
- 二十九日▼全日本仏教徒会議栃木大会実行委員会出席(栃木県仏教会事務局)

無料法律相談室

長谷川正浩顧問弁護士による、無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務局03(3437)9275へ事前予約の上、お来し下さい。

二〇一〇年三月一日発行
三月号 第五五七号



発行人 深澤信善
財団法人 全日本仏教会

〒一〇五〇〇二一

東京都港区芝公園四丁目七番四

電話 〇三(三四三七)九二七五
FAX 〇三(三四三七)三二六〇

印刷所 三州社

花まつりに絵はがきを送りましょうー絵はがきプレゼント中ー

4月8日は『花まつり』。お釈迦さまのお生まれになった日です。お釈迦さまのお誕生日をお祝いするため、『花まつり』の絵はがきを無料で配布しています。『花まつり』絵はがきで、感謝の気持ちを送りましょう。



(1枚の用紙に2種類の絵はがきが付いています)

『花まつり』絵はがきを希望の方は、はがき・FAX・メールにて郵便番号、住所、氏名、電話番号、希望枚数を明記の上、全日本仏教会までお申し込み下さい。(50部以上をご希望の場合のみ、送料実費ご負担願います) 他、詳細は全日本仏教会ホームページを参照下さい。

「花まつり」のテーマソングができました!! “ハッピーバースデーお釈迦さま” Now On Sale!!

- 花祭り花祭り
- お釈迦さまの誕生日
- 花祭り花祭り
- きれいなお花も咲きました
- ひらひらひらりん赤い花
- ひらひらひらりん白い花
- 花びらで飾りましょう
- ハッピーバースデーお釈迦さま
- 花びらで飾りましょう
- ハッピーバースデーお釈迦さま



沢村まみとJPSA
「君は一人じゃない」
「ハッピーバースデーお釈迦さま」
発売元：MIT GATHERING Co.,Ltd.
CDシングル (DVD付)
BMJP-0001~2
1,050円(税込)

第14回『釈尊を讀えて』
仏教音楽祭第1位受賞曲
後援 (財)仏教伝道協会
(財)全日本仏教会

すぐに覚えて歌える、とても明るく優しい気分になれる素敵な曲です。
お子さまと一緒に、「花まつり」のテーマソングとして、ぜひご活用ください。

CDに関するお問い合わせ先 財団法人 仏教伝道協会
電話：03-3455-5851 FAX：03-3798-2758